

第2回市民説明会（オープンハウス・説明会）

【実施概要】

1. 日時・場所

7月31日(月曜日) あいくる(手稲区手稲本町1条3丁目 JR手稲駅構内)

手稲区民センター(手稲区前田1条11丁目)

オープンハウス 13:00 ~ 18:00 説明会 18:30 ~ 20:50

※オープンハウスをあいくる、説明会を手稲区民センターで実施しました。

2. 来場者数

340人程度(内訳: オープンハウス 約300人、説明会 約40人)

3. 当日の様子



4. オープンハウスでいただいた意見

〈期待の声〉

- ・札幌の繁栄のために開催すべき。
- ・オリンピック・パラリンピックが地域活性化につながると嬉しい
- ・1972年のオリンピックではアスリートと交流できてよかったと母から聞いており、2030年も期待している。

〈不安や懸念の声〉

- ・大会の開催自体は賛成だが、その前に除雪含め道路の整備等をしっかり行ってほしい。
- ・小さな大会イベントを運営することもできないのに大会を開催できるのか。市のウィンタースポーツへの取組に対して不信感がある。
- ・自身の生活にどれくらい影響があるのか、大会を開催して盛り上がるのか。
- ・大会後の施設の維持費を考えた方がよい。
- ・大会運営見直し案が具体性に欠けているので良い悪いの判断ができない。
- ・物価や人件費の高騰が続いている状況で経費の増嵩に対応できるのか。
- ・大会を開催する理由は何か、どのような効果があるのか。
- ・I O Cと対等に協議できるのか。

5. 説明会でいただいた質問や意見

- ・オープンハウスと説明会の周知期間が短く、アリバイ作りが目的に感じる。
- ・意向調査については税金が使われるのだから札幌市民に限るべき。
- ・大会招致よりもほかにもっとやるべき施策がある。
- ・中国からの観光客が回復していない状況で、大会概要（案）更新版で掲げている観光客数及び観光消費額は達成できるのか。
- ・新設会場がゼロという表現はおかしい。こういったところから不信感を抱いている。
- ・現在、稼働していない施設をオリンピックのために稼働させるのであれば、プレ大会も含めて稼働させるにはいくらかかるのか情報提供すべき。
- ・IOCが情報公開を拒否するのであれば札幌市は降りるくらい市民に対して公約してほしい。
- ・「原則、税金は投入しない」とのことだが、東京大会では“想定外”が免罪符に

なったのが問題であり、税金を投入しないなら“原則”という文言は取るべき。それだけの責任を札幌市は負わないといけないし、それができないのであればやめるべき。

- ・大倉山ジャンプ競技場をデュアル化するに伴いどの程度木を伐採するのか。
- ・今のオリンピックはオリンピック憲章から大きく外れている。
- ・どうしてそこまでオリンピックを開催したいのか。
- ・住民投票に関して資料に記載がないのはなぜか、住民投票を実施できない理由はあるのか。